

「河川技術・流域管理分野 指定型課題」
(令和5年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
堤防越水時に表面被覆型対策工周辺で生じる激しい擾乱を伴う流れとそれによる堤体裏法侵食の評価手法の開発	中央大学 後藤 岳久	A
<研究概要> 本研究では、堤体裏法部に接続ブロックと吸出し防止シートを設置する表面被覆型対策工周辺の越流時の流れと堤体侵食を解析するため、非静水圧準三次元解析法(Q3D-FEBS法)を空気混入の影響を考慮出来るように気液混相流モデルに拡張し、透水性材料の吸出し防止シート内の流れとそれに伴う堤体侵食を解析する多層流モデルを組み込んだ。そして、国総研が実施した大規模越流実験に適用し、吸出し防止シートおよび初期侵食が堤体侵食に及ぼす影響を評価した。		
<事後評価コメント> A評価のためコメントなし		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
B: 一定の研究成果があった。
C: 研究成果があったとはいえない。